

月刊



平成23年6月1日発行 通巻185号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・ 7月1日は「建築士の日」 … 2
- ・ 平成23・24年度 本会委員会・委員の公募について
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 地域貢献活動の報告 …… 3
- ・ 米原と余呉で古民家再生
- ・ ヴォーリス建築の展示パネルが出来ました
- ・ 平成23年度 構造設計一級建築士ならびに設備設計一級建築士講習のご案内 …… 4
- ・ 2011びわこペーロン大会参加者募集!!
- ・ 支部名称変更
- ・ 大津市からのお知らせ …… 5
- ・ 新旧支部長からのごあいさつ …… 6
- ・ 支部だより
大津支部
湖北支部・甲賀支部 …… 7
- ・ 6月の暦
- ・ 「あきんど号ラリー参戦記」〈第6回〉 …… 8
- ・ 滋賀の街道 (八風街道の道標)



滋賀の街道
(第20回)

八風街道 (如来付近)

八風街道は近江から鈴鹿山地の八風峠を越えて伊勢に至る江勢交通路の一つで、中世、近江商人の重要な通商路であり、加えて京都―尾張を結ぶ最短ルートにあたり、軍事的、政治的にも注目された道であった。

愛知川から八日市までは御代参街道と重複し、分岐点には今も道しるべが残る。

八日市から八風峠までを八風街道と呼ぶが八日市から、中山道、朝鮮人街道までも八風街道と呼ばれている。

八日市は、近江最古の市場町と言われ、推古9年、聖徳太子が四天王寺建立に必要な瓦を焼くためにこの地を訪れ、そのとき、毎月八日に市を開くようになったことが起源と言われている。

7月1日は「建築士の日」

1950年（昭和25年）7月1日、建築士法が施行されたことを記念して、1987年（昭和62年）に7月1日を「建築士の日」とし、「建築士の質と地位の向上」を目指し、また「建築士」を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認する日として制定されました。

滋賀県建築士会では平成23年度「建築士の日」フェスティバルとして下記の2会場にて事業を行います。

- 開催日時 平成23年6月25日(土) 11:00～13:00
- 開催場所 彦根会場：ビバシティ彦根 彦根市竹ヶ鼻町43-1
草津会場：イオンモール草津 草津市新浜町300
- 開催内容 建築士の役割、建築士会の存在を広く県民にPRし、また、耐震についてのアピールをします。



昨年の「建築士の日」フェスティバル

お近くの方に限らず、ぜひお買い物のついででも結構ですので、ご参加・ご協力のほどよろしくお祈いします。



平成23・24年度 本会委員会・委員の公募について

本会では、平成23・24年度の委員会活動に参画して、本会事業を推進していただける会員の方を公募します。

委員として参画ご希望の方は、事務局まで、参画希望の委員会名・支部名・氏名をFAX (077-523-1602) 又はメール (shiga-sa@mx.bw.dream.jp) にて6月末までにご連絡下さい。

平成23・24年度の公募する委員会等は、右記のとおりです。



1	情報広報委員会(月刊「家」・ホームページ運営等)
2	まちづくり委員会(建築士の日事業、子ども立体作品展・建築甲子園等)
3	渉外事業委員会(定期講習・その他講習会事業等)
4	継続能力開発委員会(CPDオープン化・CPDカード普及事業等)
5	構築・連携特別委員会(公益法人化・定款変更等)
6	細則・内規等検討特別委員会(細則・内規等の検討)
7	会員増強特別委員会(会員増強等)
8	機関誌「家」特別委員会(機関誌「家」編集発刊等)
9	地域貢献活動センター委員会(地域活動事業支援等)
10	青年委員会(あーき塾・対外交渉事業等)
11	女性委員会(Doシリーズ・20周年事業等)

新入会員のご紹介

支部	氏名	住所
大津	鈴江 信之	高槻市
	波々伯部みさ子	大津市
	森 芳男	守山市
湖南	内田 收	草津市

平成23年4、5月理事会承認分

地域貢献活動の報告

平成21年度募集で選考された、2組の団体様の事業が終了し、事業報告を受けましたので、平成22年度において、滋賀県建築士会より助成金の交付を行いました。それぞれが独自性を活かし、地域社会に貢献するすばらしい事業であったと思います。これからもますます事業発展され、地域に貢献される事を期待いたします。

地域貢献活動センター委員長 菊川 太嗣

■「米原と余呉で古民家再生」

事業名：空き家を活用した古民家再生体験事業

団体名：湖北古民家再生ネットワーク

代表者：杉野吉成

事業目的：古民家の修繕体験等を通して、古民家への理解を深めてもらい空き家を地域資源として活用して、地域のにぎわいを呼び戻すことを目的とする。

助成額：500,000円

活動の内容：古民家再生塾（5回）と見学会（1回）を開催、古民家再生塾では米原市甲賀と余呉町上丹生の古民家を使用し、解体から大工や左官工事などの作業体験と参加者による民家再生作業を行った。

塾では参加者がプロの職人により指導を受け、木材を始めとする各種材料の特性や各種職人の伝統の技術を知ってもらうことを目的とし、参加者にはこの体験を通して昔ながらの民家の構造や建築の手法、工夫を学んでもらった。

また、再生工事完成後は2カ所の会場において古民家再生の見学会を開催し、一般の方々への古民家再生の啓発をおこなうとともに、地域ににぎわいをもたらす事業として開催することが出来た、今後は今回の参加者とのネットワークを広げ地元と都市住民との交流事業に発展させたいと考える。



■「ヴォーリス建築の展示パネルが出来ました」

事業名：ヴォーリス建築に関する展示パネル作成事業

団体名：特定非営利活動法人ヴォーリス建築保存再生運動一粒の会

代表者：小杉光史

事業目的：旧八幡郵便局を訪れる方々にヴォーリス建築に関する情報を提供するために展示パネルを整備し、ヴォーリス建築の情報発信基地として旧八幡郵便局の保存活用を促進することを目的とする。

助成額：250,000円

活動の内容：全国のヴォーリス建築の紹介や「旧八幡郵便局」の歴史や建物のこと、ヴォーリス氏の活動や興味深いエピソードがちりばめられた展示パネルにより、市民や近江八幡を訪れる観光客の方々にも楽しく見ていただける様、展示内容の充実を図った。

ヴォーリス氏が作る建築を理解していただき、氏が目指した人にやさしい住宅（建築）の思想を多くの人に伝えるとともに、当館の入館者の増加を図り、情報発信機能を充実させることにより、地域のまちづくりの拠点として末永く多くの人々に活用してもらえることを目指した。



平成23年度 構造設計一級建築士ならびに 設備設計一級建築士講習のご案内

構造設計一級建築士ならびに設備設計一級建築士の資格を取得するには、原則として、一級建築士として5年以上構造設計ならびに設備設計の業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う講習の課程を修了することとされております。

(財)建築技術教育普及センターが、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関として、構造設計一級建築士講習ならびに設備設計一級建築士講習を実施します。

◆受講申込関係書類の頒布《構造設計一級建築士・設備設計一級建築士ともに》

期 間	平成23年5月30日(月)～6月24日(金)〈但し、土・日は除く〉
時 間	9:30～16:30
場 所	(財)建築技術教育普及センター各支部ならびに各都道府県建築士会
価 格	1セット1,050円(うち消費税額50円)



◆受験申込書の受付《構造設計一級建築士・設備設計一級建築士ともに》

期 間	平成23年6月6日(月)～6月24日(金)〈受付締切日の消印のあるものまで有効〉
方 法	(財)建築技術教育普及センター本部宛に《簡易書留》にて郵送してください。

詳細(受講料・講習期間・講習場所等)につきましては・・・

(財)建築技術教育普及センターのホームページでご確認ください。

<http://www.jaeic.jp/>

本部 TEL.03-5524-3105 近畿支部 TEL.06-6942-2214

『2011びわこペーロン大会』参加者募集!!

「びわこペーロン大会」みなさんご存知でしょうか?

今年もまたそんな季節が近づいてきました。建築士会も今年で6回目の参加となります。昨年までは、もう少しのところで表彰台に上がれず、くやしい思いをしてきました。

秘策は《皆さんのパワー》です。漕ぎ手・応援・その他?にお越しいただき、みなさんのパワーを貸してもらえませんか?

当日は、琵琶湖畔でバーベQを楽しみながら、ドラゴンボートでの『熱いレース』を通じて、若さみなぎる『熱い夏』をみんなで体感しましょう!

参加を希望されます方は、(社)滋賀県建築士会事務局までご連絡をお願いします。



昨年の出場の様子

- 開催日時: 8月20日(土) 7:00～
- 集合場所: 大津市湖岸なぎさ公園 サンシャインビーチ
- 参加費: 2,500円程度〈未定〉
- 連絡先: (社)滋賀県建築士会事務局 TEL.077-522-1615

支部名称変更

去る、4月22日(金)に開催されました支部総会におきまして、支部名称を変更されましたので、報告いたします。

旧支部名
湖西高島支部



新支部名
高島支部

大津市生活道路拡幅整備推進事業の実施について

おねがい!、ありがとう!
少、ゆずる 大きな安心

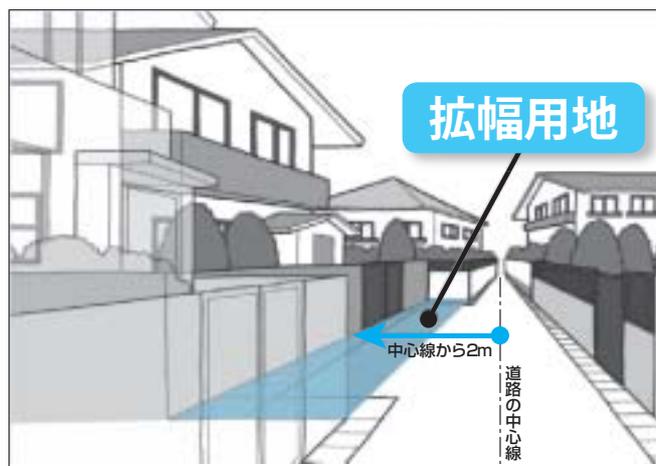
狭い道路には、緊急車両が入りにくい、火災時に延焼を招きやすいといった問題があります。

そこで、大津市では「生活道路」(*)に隣接する敷地で建築等が行われる機会を捉えることで道路を随時拡幅する、「大津市生活道路拡幅整備推進事業」を平成23年度より実施しています。

まちの防災機能の強化及び居住環境の改善を図るため、是非ともご協力を賜りますようお願い致します。

なお、当該事業の実施に伴い、平成23年7月1日以降に生活道路の隣接敷地において建築確認申請を行う建築主には、その提出日の30日前までに、大津市と生活道路の「拡幅協議」を行っていただくことになります。

「拡幅協議」が終了しましたら「拡幅協議済通知書」を交付しますので、建築確認申請の際には当該「拡幅協議済通知書」の写しを添付していただきますよう、よろしくお願いいたします。



1. 事業についてのホームページアクセス方法 (3通りあります)

「大津市ホームページ」

- ⇒① 「窓口案内・各課連絡先」 ⇒ 「生活道路整備推進室 提供情報」
- ⇒② 「くらしの情報」 ⇒ 「生活・まち」
- ⇒③ 「事業者向け」 ⇒ 「建築関係情報」

2. 問い合わせ先

大津市 都市計画部 生活道路整備推進室

TEL : 077-528-2768 FAX : 077-523-1505

e-mail : otsu1317@city.otsu.lg.jp

(※) 「生活道路」とは…

- ・ 建築基準法第42条第2項に規定する道路
- ・ その他幅員4m未満の道路で、複数の居住用の建物の敷地が隣接するもの
これらのうち、大津市道の認定を受けているものを当該事業における「生活道路」としています。



新旧支部長からのごあいさつ

大津支部長退任ご挨拶

松井 滋

平成17年度より3期6年にわたり大津支部の支部長を勤めさせていただきました。

今回、さらなる大津支部の発展を、若い千葉薫新支部長に託すこととなりました。

大津支部の皆様、本会の皆様、どうもありがとうございました。



大津支部長就任ご挨拶

千葉 薫

このたび、大津支部の支部長を拝命いたしました。私の様な若輩者に支部を預けることとなったことにご不満の会員の方も少なからずおられることと思います。私は、青年部をなんとか卒業させていただきましたが、その間、支部には大変不義理をしていたと自覚しております。青年部に出るということは、支部推薦であり、当然のことながら同時に支部幹事でもあったわけです。しかしながら、支部役員会、行事にはほとんど出席できず、幹事をクビになったような次第で…。いまさらながら反省しきりですが、こんな私に支部長が務まるか、大変疑問です。これまでの罪滅ぼし、ご恩返しではありませんが、支部運営に尽力させていただきたいと思っております。また、これからの公益法人化に向けて、本部と支部にはまだ若干の溝と申しますか、隔たりの様なものがあると感じます。他の役員さんと共に本部と支部のかけ橋の役目が出来ればと考えております。どこまで出来るかわかりませんが、どうぞよろしくお願い致します。

今回の東日本大震災では大勢の方が亡くなられました、深くご冥福をお祈りします。又、被災にあわれた方に対し心からお見舞い申し上げます。



湖北支部長退任ご挨拶

大村 修

平成17年度総会で支部長の大役を拝命し、3期6年間務めさせていただきました。

この6年間は、経済的にも我々を取り巻く環境は大変厳しい時期でした。また、姉齒耐震偽装事件以降、建築基準法・建築士法の改正と建築士のありべき姿を問われる大切な時期でもありました。そんな時期でも士会員数は変わらず、賛助会の会員数は増加しました。そして、見学会、講習会など事業数も多く行えました。これもひとえに、士会員ならびに賛助会員皆様のご理解、ご支援があればこそと感謝しております。また、就任当時若干44歳の若い支部長を支えて頂いた支部役員、賛助会会長、本会役員の皆様にはこの場をお借りし、お礼を申し上げ、退任の挨拶にさせていただきます。ありがとうございます。



湖北支部長就任ご挨拶

古川 政博

このたび、湖北支部の支部長を拝命いたしました。微力ながら湖北支部が更に発展するよう全力で頑張っていく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

昨年度は、長引く国内経済の低迷から緩やかな回復傾向と言われておりましたが、3月の東日本大震災の影響を受け、先行きは不透明になり、私たち業界におきましても、建築士を取り巻く状況は大きく変わることも考えられます。今後、建築基準法の改正など、最新の情報をより早く皆様に提供できるよう、勉強会や研修会、見学会を開催していきたいと思っております。

また、毎年恒例の会員家族旅行やボーリング大会など、家族で参加し、楽しんでいただける親睦事業も更に充実させていきたいと思っております。

皆様のご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

支部だより

大津支部

支部総会を開催しました

大津支部は4月23日(土)、おごと温泉「びわ湖花街街道」にて、大津市からの来賓を含め38名の出席の下、通常総会を開催いたしました。

総会に先立つ講演会では、会場でもある「びわ湖花街街道」の代表取締役社長 佐藤裕子様より「おもてなしの心と街づくり」という演題でご講演いただきました。バブル崩壊後の景気が低迷する中、雄琴の温泉旅館関係者が一致団結して、街づくりを進め、JRの駅名を「雄琴」から「おごと温泉」に改名する運動を始めとする温泉街としてのブランド化や、様々な広報や宣伝の結果、家族客を中心に宿泊客の増加に繋がった、というお話などは大変興味深いものでした。

関西での温泉街というと、「有馬」や「城之崎」をすぐイメージしますが、湖の眺めを愉しみながら温泉に入る、しかも交通のアクセスが良い、「おごと温泉」を再発見したように思えました。

通常総会のほうでは、東日本大震災で亡くなられた方への黙祷で始まり、役員改選では3期6年支部長を勤めてこられた松井 滋氏から千葉 薫氏に支部長職が代わりました。また、役員人事も一新し、新たな船出となる総会でした。



湖北支部

平成23年度 湖北支部・同賛助会通常総会開催

- ・開催日時：平成23年 4月23日(土) 16:30～
- ・開催場所：グランパレー東京岩



勉強会

4月23日(土)に平成23年度通常総会を開催致しました。開会に先立ち 滋賀県土木交通部建築課建築指導室 曾我慎一郎様・長浜市都市建設部建築住宅課 田邊弘和様による「滋賀県建築基準法取扱基準の改正について」、長浜市都市建設部都市計画課 主事 寺村定晴様・主査 渡邊光徳様・参事 西村庄司様による「長浜市の新しい景観まちづくり計画」、本会常務理事 福谷晃様による「CPDのについて」の勉強会をおこないました。

総会は66名の参加がありました。平成22年度事業報告、決算報告、平成23年度事業計画、予算が無事承認されました。

総会終了後懇親会がおこなわれ、昨年に引き続き長浜建築施工管理技士会と合同の懇親会をおこないました。総勢94名という大勢の参加があり、大変盛り上がりしました。

伊藤光男副会長他来賓の方々を迎えて会員ならびに賛助会員、建築施工管理技士会員が恒例のビンゴゲームなどで楽しく懇親をはかりました。また会場で東日本大震災の義援金を募り70,114円が集まりました。また後日、日赤義援金へ送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。

今年は役員改選の年で支部長を私 古川政博がさせて頂くことになりました。微力ながら頑張る所存ですので、皆様のご協力ご支援を宜しくお願いします。



懇親会



ビンゴ大会

甲賀支部

平成23年度 甲賀支部通常総会

平成23年 5月11日(水)、ホテル・グリーンヒルサントピアで平成23年度通常総会を開催いたしました。

「建築を通して地域の良き指導者として建築士として日本の復興・社会発展に貢献しよう!」をスローガンに◆総務◆本部連携◆地域活性化◆見学研修交流◆技術研修の各委員会を通じた平成23年度事業計画を決定いたしました。

平成23年度 甲賀支部役員

相談役	辻 富生	杉本正和	片淵 満	岡村輝則	井島 均	
支部長	大角道雄	副支部長	船田榮一	竹田久志		
幹 事	甲賀市	湖南市	中川 清 西田克実	小島道雄 森脇政男	山田友行 池戸宏行	藤田一雄
		(水口)	岡村俊男	木田秀樹	墨田雅樹	
		(土山)	前出 誠	根縫徹也	佐治隆嗣	片岡久伸
		(甲賀)	瀬古教登	片淵 良	荒川克明	
		(甲南)	服部幸治	中本美栄子		
(信楽)	山尾政信	安田英樹	遠藤保徳			
監 事	藤橋進司	西本健二				

建築を通して地域の良き指導者として 建築士として日本の復興・社会発展に貢献しよう!

総 務 委 員 会	支部会計・総会及び役員会・会員増強・資料管理
本 部 連 携 委 員 会	本部事業への協力・本部門刊「家」への協力・青年委員会 女性委員会への協力
地 域 活 性 化 委 員 会	地域活性化事業・東日本大地震への援助
見 学 研 修 交 流 委 員 会	建築等(文化伝統)の見学研修・他支部及び会員相互の親睦
技 術 研 修 委 員 会	建築基準法改正等講習・新工法建築材料等の技術研修・継続能力開発(CPD)の推進



6月の暦

1	水	先負	・四役会 ・四役、委員長会議	10	金	先勝	理事会	20	月	大安	
2	木	大安		11	土	友引	DoシリーズNo58 「わたしのまちの油田」	21	火	赤口	
3	金	赤口	・青年委員会 ・まちづくり委員会	12	日	先負		22	水	先勝	
4	土	先勝		13	月	仏滅		23	木	友引	
5	日	友引		14	火	大安		24	金	先負	
6	月	先負		15	水	赤口		25	土	仏滅	「建築士の日」フェスティバル
7	火	仏滅		16	木	先勝		26	日	大安	
8	水	大安		17	金	友引	平成23年度第1期定期講習	27	月	赤口	
9	木	赤口		18	土	先負		28	火	先勝	
				19	日	仏滅		29	水	友引	四役、委員長会議
								30	木	先負	

あきんど号ラリー参戦記

1998年 第3回アジアンラリー

～ようやくレースらしく～

1997年、アジアンラリー初挑戦は32台中、完走14台（完走率43%）、過酷なレースであったが総合11位、決して満足できる結果ではなかった。実のところ私は39.4°の高熱とひどい下痢でのラリースタートであった。1998年もチーム体制が整い、出場が可能となった。コースはクアラルンプール（マレーシア）スタート、バンコク経由のチェンマイ（タイ）ゴール、9日間4,000kmの行程である。

前年、日本に戻り最初に行ったラリーカー改造はエアコンの取り付けであった。本来ラリーカーとしてはパワーをロスするためあり得ない判断ではあるが、8月に熱帯雨林及び熱帯モンスーンをステージとするアジアンラリーでは必須と判断した。勿論、四輪駆動装置の改良とショックアブソーバーも特注品を、またアジアンラリーに最適なタイヤも提供してもらえることになった。

1998年8月8日 オフィシャルホテルから白バイの先導ですべての交通をストップし、コンボイにてラリーカーを、前年と同じダタランメルディカスクウェアに移動。前年より観客の数が多く、ライブでテレビ放映も行うなど盛大なスタートセレモニーだ。エントラントの数も増え、滋賀県大津市から参加のチームもいる。

夜8時30分、あきんど号のスタートだ。Leg 1 初日は205kmの移動のみで避暑地のキャメロンハイランドに、日が変わった頃無事到着。Leg 2 いきなり前日までの雨でレースにならないほどコースがひどく、一部キャンセルとなった。橋が流されて無くなっている所もあり、タイヤのエア圧をぎりぎりまで下げて川渡りをするなどしたが無事、ペナンにゴール。Leg 3 タイへの国境越えとなるため4時起床。100kmの移動後、タイ入国手続き。しかしマレーシアの出国スタンプが押されていない。係員のミ



表彰式 総合9位クラス2位日本人2位

スだ。タイ入国が出来ずに再びマレーシアの国境管理事務所に戻り、スタンプを押してもらい無事タイ入国。この間、タイでもなくマレーシアでもない中立地帯をうろうろと車で移動。どうやら我々だけでなく他のチームも同じ状態であった模様。日本人が車でボーダー越えをするのはまだまだ珍しい様だ。この日のホテルはオーバーブッキングで、我々も含め他の日本人チームも部屋が無い。日本では考えられないが、ホテル側は承知の上でのオーバーブッキングのようだ。何とか1室を確保し、みんなでザコ寝した。Leg 4 順調に走行。コマ図にスプリットハウス(寺院)を通り抜ける時、願い事をしながらクラクションを鳴らせ、の表記があるが時間に余裕があったので無事完走できますようにと、爆竹を鳴らしお参りをする。右手首にミサンガもしてもらった。ところがホテル到着後、リアのデフからオイル漏れを発見、「リタイア」の文字が頭によぎる… Leg 5 「ナビのテスト」と表現されるセクション。非常に難しいSSであったが、他のチームがあちこちでミスコースする中、我々は無事ゴール。Leg 6 スタート前、主催者の配慮でアユタヤ遺跡を観光。Leg 7 バケツをひっくり返したという表現がぴったりのひどい天候であったが、首長族で有名なメイホンソンの町にゴール。Leg 8 無事完走できたあきんど号は総合9位、M3クラス（市販車改造3,001cc以上）2位、日本人2位の満足出来る成績を納めることが出来た。細かなトラブルはたくさんあったが一つずつ克服しての結果である。帰国の飛行機の中で、腕のミサンガに感謝をした。



寺院で完走祈願



アユタヤ遺跡にて



メイホンソン首長族と

滋賀の街道（八風街道の道標）

八日市付近にある道標の文字を読むと、「右 京むさ 八まん道・左いせ ひのみな口道・右 多賀 ひこね えち川道」と御代参道、中山道、朝鮮人街道、多賀大社への道として重要な道標と思われる。

